

ごあいさつ

日頃、皆さまには格別のご愛顧をいただき、厚くお礼申し上げます。2022年の「よこしんレポート」をお届けします。

令和3年度の日本経済は、昨年度に続いて新型コロナウイルス感染症の動向に大きな影響を受け、一進一退の動きが続きました。当金庫の営業エリアを見ると、その中心である横浜市は、令和4年1月1日時点の推計人口が前年同期と比べて減少しました。市内の推計人口が前年同期より減少したのは戦後初めてとなります。

こうした中、当金庫は令和3年4月にスタートさせた中期経営計画で掲げたビジョン「地域の成長と発展に貢献する総合サービス業への進化」を実現するため、10月に「本業支援室」を設置し、従来からの資金繰り支援にとどまらず、本業支援や課題解決支援に取り組んでまいりました。また、経営課題を抱える事業者への支援策として、公的金融機関や信用保証協会等の外部機関との連携を強化しました。

令和4年1月には新たに経営理念を制定しました。令和5年7月に迎える創立100周年の大きな節目に向けて、これまでの感謝をお客さまや地域へお返しするため、金庫一丸となって『経営理念～このまちの未来をともにつくる～』を実践し、お客さまや地域社会の成長発展と笑顔あふれる地域づくりに貢献してまいります。

皆さまのより一層のご支援をいただければ幸いです。



令和4年6月
理事長 大前 茂

経営理念

このまちの未来をともにつくる

信用金庫の原点を忘れず、金融を超えた価値を提供し、笑顔あふれる地域づくりに貢献する大切にしたい思い・行動

- 広い視野を持ち、変化を恐れず積極的にチャレンジする
- 自分たちの仕事に誇りと自信を持ち、信頼される行動をとる
- 成長に向けて常に学習し、未来への責任を果たす
- 感謝を忘れず、相手の想いに真摯に向き合う
- 多様な価値観や新しい考えを尊重し、共に考動する

プロフィール

(令和4年3月31日現在)

創 業 —— 大正12年(1923年)7月19日
出 資 金 —— 1,743百万円
預金積金 —— 2,021,555百万円
貸 出 金 —— 1,104,609百万円
役職員数 —— 1,271人
本 店 —— 〒231-8466 横浜市中区尾上町2-16-1
電話 045-651-1451 (代表)
店 舗 数 —— 61店舗
営業地区 —— 神奈川県 横浜市/川崎市/横須賀市/鎌倉市/藤沢市/
茅ヶ崎市/逗子市/三浦市/相模原市/厚木市/大和市/
海老名市/座間市/綾瀬市/三浦郡/高座郡/
愛甲郡愛川町
東京都 大田区/町田市

シンボルマーク

横浜信用金庫を表わす「Y」を囲む3重の輪は、「地域社会」「顧客と会員」「役員とその家族」を意味しています。

お互いに支え合い、強い絆で結ばれ、地域金融機関として限らない前進を図っていきたいという願いが込められています。

